

刊夕日一十月一十



定価 一部金五銭一ヶ月金五拾銭 郵費五銭  
 廣告料五拾二文字第一行金五拾銭  
 日曜祭日の翌日休刊  
 発行所 常磐毎日新聞社  
 印刷所 常磐毎日印刷株式会社

寝る前に磨く

歯科原精一

人間の身体の中で一番不潔な場所は歯のすみみ腸と口腔とであります。ところが、夜寝てから朝起るまでの間に口腔の細菌が著しく繁殖してやうど、塵埃捨て場のやうになつてしまひますから、ムシ歯は生じ、口がくさくなり色々な病氣感染のよい機会となります。それを防ぐには歯を磨くことが絶対に必要であります。

(第一) 睡眠中は、唾液の分泌が少なく歯の面が洗はれないばかりでなく、舌や口の周囲の筋肉を動かしませんから、摩擦による自然的清掃が行はれません。この自ら浄める作用が、実はムシ歯を防ぐに役立つのであります。これが睡眠中には行はれないために夜間に多くムシ歯ができるのであります。

(第二) 睡眠中の口腔は細菌を培養する孵卵器と同じであります。歯の間に残つてゐる食かすを養料とし適度の温度とによつて一匹の細菌は分裂して二匹となり次で四、八、十六、三十二、六十四といふやうに増殖してゆきますから、忽ち無数に繁殖してしまひます。寝る

前に歯を磨いた場合と然らざる場合との唾液を取つて顕微鏡で調べてみると、磨かない場合のばい菌は磨いた場合よりもはるかに多いことが証明されます。

ノット

疊へ落ちた針を探す為め針箱には必ず磁石を入れて置くこと

(第三) ムシ歯の原因は、口中の酸のためであります。夜の口腔は稍温度が高くなり、食かすが乳酸菌その他のばい菌のために酸を生ずるのに一番都合がよいのであります。その酸のために歯の表面のはうろが質が侵されてムシ歯

【朝】すまし汁——半べんふ花えび

【晝】とり——魚白身、とうふ酢、さらしねぎ

【晩】精進湯——ばす、こぼう、合せせうゆ

となります。ばい菌が食物が酸化した證據は朝起きた時の口中が悪しうを放ちだ液がねばねばすることがあります。

(第四) ムシ歯をつくるばい菌の主なるものは歯牙脱灰菌と歯牙溶解菌とであります。

ます。はじめ脱灰菌が歯の石灰分をやはらかにすると次には溶解菌が歯を溶かして、ムシ歯の穴が出来ます。これらのばい菌の活動は口腔の静止状態にある、睡眠中が最も適してゐますからムシ歯の進行を阻止するために寝る前に歯を磨くことが大切であります。

(第五) 口内には色々な病氣の原因となる、所謂病原菌がゐます。即ちカタル球菌、流行性感冒、かん菌、肺炎菌、百日咳かん菌等の活動を制止し病氣感染の機会を絶滅するために寝る前に歯を磨くことが大切であります。

米國陸軍 齒科軍醫少佐ロドリッグ氏の研究によりますと、すい液一立方センチメートルの中にムシ歯をつくるばい菌が十萬以上あるとムシ歯にかゝり易い、二千以下になれば安全であるとのことあります。今四十八萬のばい菌をもつてゐた一人の九歳の男子が寝る前に母親の監督のもとに嚴重に歯を磨いたところが忽ち一八五〇に減つて、全く安全地帯になつたといふことを報告して居ります。これによつてみても、夜寝る前に歯を磨くことが如何に大切であるかが分ります。



母 飯村 閑舟

母よあなたの乳房より流れ流れてすゝりたる愛の泉はかくやくくく恵みは遠く忘れぬす。母よ！あなたの胸の暗さも知るものを見せまじものと焦らるゝ心づかひのいたまじさ

地相 家相 人事 鑑定 高野 島澤 堂前 易断 平野 所象

十一月十二日壬午六白先負危  
 【白】勢して功の無き仕事  
 の始末に多忙の日彼様な日は水火の難に注意して南北  
 【二黒】頭の上らぬ点多く  
 我身の法立もあるか長へ者  
 にはまかれよの例ひの通り  
 謙遜以て吉南北凶【三碧】古  
 事を捨て新金に進で凶を讓  
 す事あれば病氣俄怪にも注  
 意未申と丑寅凶【四綠】金談  
 普請縁談等の心配のある日  
 抄々に進むは吉東西凶【五  
 黄】縁談及取引に奔走して  
 出費の多い日なり後日利益

木村外科専門院

平野町五丁目 橋目 電話 三九〇

美味で！ 評判の……  
 イワキ サロン  
 電 352

の事を進んで吉戌亥と辰巳凶【六白】運氣滞滞の日なれば萬事控目が吉なり總ての件は明日に延々すべし【七赤】金談縁談等に奔走して吉を得るの日戌亥と辰巳凶【八白】長男長女の喜悅もあり又普請の計劃も成るの吉日なり東西凶【九紫】病氣怪俄粉失盜難の凶報を聞く日なれば萬事に注意未申丑寅凶

輪界の王座

サビナイ自轉車 富士自轉車 國際自轉車  
 全廻轉部・鋼鐵製・防水保油装置  
 指定販賣所 フタバ商會 平・新川町・橋際

久全屋酒造

磐城セメント會社特約店 磐城平町五丁目 電話九 乘九九番  
 □良品廉賣に勝る商略なし □確實敏捷は久の生命なり

酒 銘 入賞披露

最優等賞 於福島縣第九回清酒品評會  
 優等賞 於東北六縣第六回清酒品評會  
 濱三郡特約店 永山酒店 平・田町 電二〇七番

◇ 雑夫募集 (掃除及) 一、年齢 十五才以上、五十五才迄にして住込みの出來得る方 一、學歷 尋卒程度、讀み書きの出來る方 一、給料は委細面談 姓名 在 社

# 五分間消燈し

## 防火注意を反省

### 入山炭礦が夜警の期間中を

湯本町入山炭礦夜警組では明十二日夜より夜警を開始し來年三月末日迄繼續するが期間中は毎夜七時より五分間消燈して各戸夫々防火の注意に就いて反省する事となつた

### 朝、晝、晩の三回

### 警鐘鳴る

### 防火運動の當日

平消防組が氣勢を添えて

既報來る十五日の火防運動は平消防組が午前六時、正午、午後六時の三回に亘つて三分乃至五分間宛警鐘を打つて氣勢を添えたと

### 平窪防火協議

平窪消防組では明十二日午前十時より小學校に於いて幹部



### 巷の話題

雑草のいたづら朝もやの中から晩秋の陽が勢ひよく飛び出して、森の紅葉を真紅なまでに染め上げると「けふもお天氣」といふ喜びはハンターの心をワクワクとおどり上らせる、で獵マニアの大工さん中倉正夫クンも鐵砲かついでお一、二お一、二、だが餘り勢込

催した稲作坪刈品評會の出品物を審査中であつたが本日左の如く決定した  
(勿來町)等小松重義 二  
等日渡信 三等小野幸治  
郎 四等安島善一郎 五  
等小野信治 六等日渡梅  
芳 七等甲高誠兵衛 八  
等胡口芳重 九等安島源

## 表彰者決定

### 明日の教育會に

既報明日午前十時より平第一小學校に於いて開催される東部聯合教育會總集會に表彰される功勞者及び三十年以上の在職者は左の如くである

- △功勞者 (石城郡) 玉川村 學務委員 永久保榮造
- (双葉郡) 浪江町長 桑島吉之助 (相馬郡) 眞野村々長 牛渡惣
- △三十年以上在職者 (石城

## 高利債借換

### 劍濱に許可

泉村字劍濱漁業組合では豫てより縣を経て高利債借換金四千圓の融通方を申請中であつたが此程許可の指令があつた

## 代議員協議

### 提出事項を

既報東部聯合教育會代議員會は本日午前十時より平第二小學校に於いて開き各郡より提出された左記事項に就いて協議した

- 一、三十年以上在職者表彰改善の件
- 一、非常時局に際會し吾が東部聯合教育會は如何なる對策に出ず可きや
- (以上石城郡會提出)
- 一、公私私立小學校教員俸給を速かに縣費支辨とせられん事を其の筋に建議するの件
- (双葉郡會提出)

- 治 十等蛭田倉男外九名
- (山田村) 一等安島信雄
- 二等下山田政好 三等渡邊武雄 四等蛭田豊治
- 五等小峰由太郎 六等下山田磐雄 七等秋山榮
- 八等渡邊信太郎 九等鈴木義治 十等鈴木一外十三名

- 郡) 内高佐藤一 勿來高折笠魂子太郎 内郷第二
- 萩余藏 入遠野志賀豊吉 同新妻富次郎 永井小玉
- 養治 湯本高鈴木奎太 (双葉郡) 上岡名倉末治
- 新山伊東與吾治 熊町新野久治 (相馬郡) 原町大越寅市 大甕々々木清人

んで石につまづき銃を杖にして起き上らうとした刹那引金が雑草からまわりついでズドン、轟然一發、獲ものは山鳥でもなくヒヨでもなく、己がアバラ骨一本と拇指、胸部から腹部にかけてタマは蜂の巢のやう食ひ込み生命危篤。

サテどうしよう一不心得も斯うまで徹底すれば、もう申分なし、福島縣新町魚商松永勇一郎(五)は生活苦

から泣きの涙で娘を女郎に賣り大阪まで送つての歸途娘から當分の費用にと百圓をもらったので、すつかり

どうかと思ふね! 『飲まう會、遊ばう會、話そう會

泣こう會』まさかそんな會はなからうが。これはあちら米國メーン州の話

笑はう會、よし来た總會、泣こう會、まさかそんな會はなからうが。これはあちら米國メーン州の話

一夜にして失業—盛岡市木伏鎌田勇太郎君は朝市場

木伏鎌田勇太郎君は朝市場に野菜を運んで來る農夫相手に支那そば、ワンタン等を商ひ、ホクホクしてゐたが、今日も一儲けしやうと店に來て見ればアツヤ、鍋、釜から井のはてまで商賣道具一式をカツ拂はれ、行届いた掃除まで綺麗さっぱりととしてるのに呆然自失おつろろしい世の中になつたものと嘆きこぼれてる

一、研究發表實施の件  
一、福島縣教育會館に記

念額面寄贈の件  
(以上相馬郡會提出)

江戸前料理 食卓

紅葉狩にはぜひ錦水の折詰 辨當を御供させて下さい

錦水 電四五四

門 專  
婦 産  
花 柳 病 科  
人 科  
科 科  
◎入院隨意

井坂醫院 平町田町 電話五五九番

中村齒科醫院 平町 鍛冶町 七

貸切の●●●

御用命は!!!

獅子吼 四四九ノ勢デ  
眞先ニ……………(マツサキ)

三九一タクシーへ!!!

# 嫁入りの話じに

## 十七娘びつくり自殺

好間村大字北好間字堂田三表具商士岡壽馬二女ハツエ(七)假名は十日午後十一時頃カモチン九十錠を嚥下して苦悶中を發見され萩原炭礦醫の應急手當を受けたが今朝遂に絶命した原因は當人は近く大阪の遠縁に嫁で行くの極度に嫌つての結果である

### 師範生の見學

本縣男子師範學校専攻科生三十一名は来る十七日渡邊教諭引卒の下に來平第三小學校に於ける施設經營の一般及び算術、圖畫の實地授業を視察すると

## 演習想定が決定

### 戊申役其儘の陣形

既報十七八の兩日舉行される警中對平商の戊申の役當時の陣形に依る秋季發火演習第一日は午前八時湯本町小學校に集合直に鹿島村方面に於いて陣地攻撃及び進撃あり、第二日は草野平方面に於いて遭遇戦を華々しく行はれるが兩軍の想定は左の如く指揮官は兩校配屬將校を始め各係教官で總人員約千五百名である

## 觀世流の

### 秋季素詣

十九日谷口に

(北軍)植田及び小名濱海岸を準備せる北軍大隊は優勢なる敵の陸海軍の攻撃に對し一時決戦を避け磐崎及び鹿島附近に後退し夕刻平町附近に進出を豫期せらるゝ中村増援隊の來着を俟つと決す

平觀世會では来る十九日午前九時より谷口樓に於いて秋季素詣會を催すが出演者は郡下は勿論遠く小野新町等よりも参加するので素詣フアンは今から非常な期待を掛けて居ると決定せる出演團體左の如くである

勿來好謠會、泉松韻會、植

## 記念碑の

### 除幕式舉行

内郷村綴驛構内跨線橋の記念碑は此程淺野野記念會館前に竣功したので近く盛大な除幕式を行ふ

## 四名が共謀し

### 公有林盜木

夏井村字新田目の阿部良平(一)阿部松次(二)新妻廣(三)佐久間季治郎(四)の四名は共謀して今春以來同村菅波地内にある公有林より松、杉材廿餘本を盜伐した事實發覺目下平署で取調中

## 赤の

### 一が優勝す

既報平第一小學校の町内一周一萬八千メートルの驛傳競走は本日午前十時校門に於いてスタートを切り華々しく舉行一チーム四十四名宛二十チームの選手達は何れも赤青黄、白、紫、黒の輪布を肩にかけて疾走拔きつ拔かれ

山口教諭提出 警女

### 明日の天気

今夜は北の雨  
日は北西の風  
天気  
良なる見込

### 今晚の部

後六、〇〇(子供の時間) 唱歌と齊唱 JOAKK 唱歌  
後六、二五 講演「米國絹業界を視察して」富田勘之丞  
後七、三〇 時事解説 外務省通商局長來栖三郎  
後八、〇〇 歌曲「残月」三絃宮城道雄 箏牧瀨喜代

### 明日の部

後八、三〇 人形浄瑠璃 (文樂座より中繼)「戀飛脚大和住來」豊澤駒太夫  
後九、三〇 時報 ニュース 氣象通報 番組豫告

### 分團對抗

野球延期

### 市原醫院

平町 田町 電話一四番

## 柔道出場

### 兩校の選手

警中及び平商兩柔道部は明日午前九時より警炭武道部主催の下に内郷村武徳殿に於いて開催される武道大會に出場するが兩校の選手は左の如くである

警中)阿部文平 遠藤文也 白井晃 林武義 武藤榮一 小西信正 鈴木克己 根本富郎 矢吹傳信 野木忠 伊達隆 小野繁 高島政直 東海林勇 (平商)佐藤慶三郎 高木吉郎 岡野忠 高木益利 小室壽男 會川清美 西川貞夫 千葉忠雄 金成誠一郎 高橋芳雄 木村久壽 千葉正雄 川泰治 志賀清視

## 植田農産

### 錦山田と聯合

植田町外錦山田二ヶ村の農產品評會は本月廿五日より廿八日迄植田小學校内に催される

## 聯合農産

### 品評會開催

上遠野、入遠野、田人三村聯合農產品評會は来る廿二日より廿四日迄入遠野小學校に於いて催される

### 平町人事

△出前持 十六才 尋卒





【禁無斷轉載上演映畫】

寶井馬琴 演  
山本英春 畫

第八十七回

血に飢ゆる村正

騷動の種籠釣瓶

扱て兎角する中四月の中旬になりまると次郎左衛門は夫まで足ふみをした事もない義理ある兄の仙太郎の所へ参りまして、是まで訪れなかつた詫を致し、元々絹屋の家は仙右衛門が血筋ゆえ其の實子の仙太郎に継させますのが順當然し最初は次郎左衛門の心中を計りかねて仙太郎を断りを云ひましたが、段々聞いて見れば都築の家を繼ぐと云ふのだから、夫ではと承知しました、そこで仙太郎夫婦をソツクリ我が家へ入れまして、先代の名前ゆえ絹屋仙右衛門といふ事に致し自分は名主の所へ参り、萬事の手續を済ませ享保の六年中に人別を消したと云ふ事に名主の方を拵へ、今後何をして絹屋の家に關係のない様に致し、船橋の者を呼んで、立振舞も立派に仕りましてサア是から江戸へ行つて前年の仕返しに吉原の奴等に青い息をふかしてやらうドツサリ借金を背負し自分は竹刀一本を擔いで諸國修業と出掛けやう、と心を定めた次郎左衛門、心残りのないやうになし

享保の七年五月二日の日に江戸表へ参りまして本野町の定宿佐野屋の家へ着きましたが、敵を謀るは味方を謀れで、佐野屋の主人にも此の事は内々でございませう早速吉原へ出府の事を知らせましたに依つて取敢ず葛

出来上つた八ッ橋樓まだ座敷開きは致しませんが、其の結構なる事實に眼を驚かすばかりでございます、腹の中では次郎左衛門、何ぼ人の金だからと云つても能くも斯う圖々しく何事も出来たものだと思つて居りました、其晩は遊びもせず何れ五日の座敷開きに改めて來やうし、それまでに江戸の用を荒方片つけて置いて五日の座敷開きから四五日は居續けをして見やうし、又是までの入用は五日の日に来た残らず拂ひをしやうと堅く約束をして、其夜は佐野屋へ歸りました、残つ



屋のお仲阿波太夫が出て参りチャホヤ、其の日の内にどうぞ八ッ橋樓の御檢分を願ひたいとの事に、次郎左衛門は承知して吉原へ参り、阿波太夫藤八初め各々案内で萬字屋へ参りまし

た悪者共は先づ締めた、是で充分だと指を折つて五日の日を待つて居りました、現當日になりまると次郎左衛門は支度をして駕籠を飛ばして吉原へ這入つて参りました、暗に此の廊

ばかり月夜哉とは誰が申しましたか、實に廊内の夜の景色は別段でございます、畫のほどから次郎左衛門は萬字屋左次右衛門の家へ参り薬子替間の總上をなし夫から萬字屋へ参りまして、喜見城の樂しみを致しました、何分相方の八ッ橋は碌々次郎左衛門の傍にも居ず何かソワソワして居る様子モ一眼のさめて居る次郎左衛門、何をしても八ッ橋のする事は分つて居ります、其の中に御引けと云ふ事になり寝ましたが八ッ橋も廻つて來ず、番頭新造の船橋や橋の戸が時々來て新『今花魁も來なんす故待て居なまし』

となまめいた廊詞も氣が付いて見ると可笑しくもなし、寝ては居たが次郎左衛門どうも眠られませんが、どうせ明日は宿へ歸り面小手を擔ひて修業に出やうと思ふので、騒々しい女郎屋に寝ても居られませぬゆゑ一旦萬字屋へ歸らうと云ふので立出でました、茶屋の者も來て居りませぬゆゑ萬字屋の若い衆が茶屋まで送つて行く事になりました、今次郎左衛門が歸るといつても誰も一人留守はなし、不實な者だと思ひながら内所へ預けて置いた脇差を差して立出でました本來内所へ脇差を預けて置く筈はございませぬ、茶屋から來れば腰の物は茶屋へ置くのが當然でございますが間違ひの出る時は仕方のないもので中歸りをした次郎左衛門が

御用命は印刷物の總て  
常警毎日印刷株式會社  
電話三六〇番

吸入用酸素 純度 99%  
度量度 モノサシ  
ハカリ  
寒暖計  
關内藥局  
電話四〇番

毛糸編物講習會  
十一月十四日ヨリ二十日迄七日間  
午前九時ヨリ午後三時マデ  
會場 ハシモトヤ糸店階上  
皆様と共に編物と手藝の研究を致し度と思ひます  
店員始め編物の達者な方数名が御相手致します。  
合名 會社 ハシモトヤ糸店  
平・田町 電話十四番

鹽か  
魚問屋  
最優最大日本生命平代理店  
志賀盛榮  
平四丁目(電二三一)